

芽高新聞

再刊343号

北海道芽室高等学校

新聞局

河西郡芽室町東めむろ

1条北1丁目6

発行責任者

長尾 紗和

『質問事項』

- ①芽高に来て何年目
- 次の異動先
- ②芽高での一番の思い出
- ③今だから言える本音
- ④芽高の良いところ
- ⑤これからの抱負・したいこと
- ⑥芽高生にメッセージ

佐藤康則
校長先生

- ①2年目
- ②今年度、芽室ビーナッツについて取材できたこと。
- ③新聞局は視野が鋭い。
- ④校舎内で生徒の笑い声が聞こえ絶えないところ。
- ⑤イギリスやアイルランドへ行きたい。
- ⑥「考える力」を身に付けてください。成長した皆さんを見てみたいです。

石森由香利先生

国語科

新聞局



- ①13年目
- ②小樽桜陽高校
- ③13年いたので1つには絞れません！やつぱり新聞局での思い出と担任3回やったことかな...
- ④購買のきなこフランスとベーコンエビを食べられなかった...
- ⑤生徒が素直で朗らか。行事にひたむきで熱い所に慣れた。
- ⑥早く仕事と長距離通勤に慣れた。
- ⑦大変な世の中ですが頑張らず、自分の歩幅で歩いて、心身を大切に。あと芽室町にもっと関わってくださると嬉しいです。

任集
離特

8名の先生が旅立つ

今年度、7名の先生が退職、1名の先生が異動する。今回は4名ずつ2号に分けて頂いたメッセージを紹介する。

今までありがとう

野村昌男先生

保健体育

スケート部



- ①13年目
- ②生徒と授業、部活動、行事で楽しめたこと。
- ③コロナなければなあ...
- ④明るく素直な生徒が多い、やる時にはしっかりできること。
- ⑤新しい仕事をしつかり覚える。
- ⑥13年間、本当に楽しかったです。自分の夢に向かって進んでください。

小山恭弘先生

保健体育

野球部



- ①17年目
- ②卒業担任団で熱海や箱根、横浜を旅行したこと。
- ③野球部の監督として大好きな部長と野球ができたこと。
- ④教師には向いてなかった。
- ⑤生徒が優しいところ。
- ⑥立派な老人になりたい。
- ⑦幸せになるんじやくて幸せに気づくんだよ。

特集

Part 2

ありがとうって何回 何乗しても足りない



西岡秀樹 先生
・数学科
・卓球部

①7年目(大樹高校)
②ブラックアウトや台風接近、新型コロナで臨時休校になり授業時数の確保に苦労した。
③座席表が教卓にないとき、の授業は緊張した。
④大自然に囲まれ恵まれた学習環境、そして優秀な生徒たち!!
⑤ギターを練習し、あいまよんに近づきたい。
⑥周りに左右されず、自分らしさを大切に、新しいことの学習に熱心であって欲しい。

過ぎした日々は宝物



佐々木隆光 先生
・理科
・山岳部

①16年目(帯広柏葉高校)
②2回の全道大会出場。落石と体調不良のため、2回とも2日目の山へは登れず。
③マスク期間中の身だしなみがかなり乱れていました。
④四季折々、山の端が特別。
⑤屋上から綺麗に見えるところ。部活で登った剣山、十勝岳等。
⑥野外へ出かける目を増やしていきたい。
⑦明るく挨拶を交わす関係性が今よりもっと広がっていくといいですね。

芽高新聞

再刊344号
北海道芽室高等学校
新聞局
河西部芽室町東めむろ
1条北1丁目6
発行責任者
長尾 紗和

☆三回
き〜めた!

Vol. 52

村上敬祐



2年C組の村上敬祐です。5月28日生まれのO型です。部活は野球部で、ポジションはファーストです。
好きな野球チームは



山中剛 先生
・英語
・バドミントン部

①8年目
②卒業担任として迎えた平成30年3月1日の大雪の卒業式。
③特にありません。
④コロナ禍でも学校祭等のイベントを盛り上げたところ。
⑤齋歯類がお気に入りなのでカビバラや『世界一幸せな動物』と言われているクオッカを見に行こうと思います。
⑥If you can DREAM it, you can Do it.



五十嵐英理子 先生
・家庭科
・写真部
男子バスケットボール部

①14年目
②生徒のみんななどの授業や廊下、玄関、被服室などでの交流です。いつも元気をチャージしてもらっていました。
③芽高生のことがかわいいなあと思ってました。
④みんながキラキラした宝物の原石。磨くとどんな光ります。
⑤世界旅行、日本中のグルメ旅。発酵食品と薬膳料理を究める。
⑥頑張りすぎないで自分らしい幸せな人生を送ってください。

卒業式 2クラスずつ実施 感謝を胸に未来へ



卒業式の様子

3月1日、本校体育館にて、第71回卒業式が行われ、卒業生一人一人が佐藤康則校長先生から卒業証書を受け取った。今年度も新型コロナウイルスの感染拡大予防のため在校生は参列せず、さら

編集後記

343号・344号は離任・退職特集となりました。今年は退職される先生が多く、別れの季節を実感しています。親しい人との別れはつらいことですが、それは人だけでなく作品にも言えます。私の好きな作品は1月に最終回を迎え、2月に新シリーズが始まりました。新しい出会いには喜ばしい

地元である「日本ハムフアイターズ」です。春といえはピンクをイメージします。自分の前世は「俺」、来世は「桜餅の葉っぱ」です。

と思います。カラオケではよく星野源さんの「アイデア」を歌います。今年度楽しみなことは車の免許をとることです。

また、在校生唯一の出席者である現生徒会長の小田島凛さん(2D)が送辞で先輩への思いを述べた後、卒業生代表の湯浅花椰さん(3C)は「私は一人では高

校生活に鮮やかな色を付ける事はできませんでしたが、多くの人に助けられながら今、この舞台に立っています」と、後輩達や先生方、そして家族への感謝の思いを答辞として述べ、盛大かつ厳かに式は終了した。(山口)

のですが、最後に言わせてください。トロボカル1ジュブリキユアは最高だったと。(松井)

顧問
横濱 優子
局長 長尾 紗和(2D)
副局長 奥村 愛可(2C)
編集長 佐藤 力也(2B)
山口 和真(2B)
木村 空(2D)
松井陽花莉(2D)
田中 涼葉(1A)
近藤 麻央(1C)
石森由香利
横濱 優子